

# リリカラレイフロア 施工要領書



 **リリカラ**

## 置敷きタイル 4mm・3mm タイプの施工時の注意点

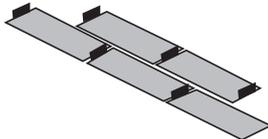
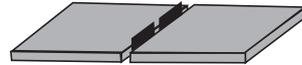
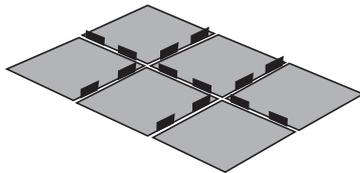
### ◆施工前の注意事項

- 施工する下地に極端な段差（不陸）や隙間がないかを確認の上、極端な段差や隙間が生じていた場合は、下地を補修した後に施工するようにしてください。
- 施工の際、下地に油・ワックス・塗料などが残っている場合は、接着不良や変色の原因となりますので、清掃をきちんと行って除去してください。  
〈特に3mm 品に関し不陸があった場合、美観に影響が出る場合がございます。〉

### ◆施工条件

- 施工時の室温は15℃～35℃に保ち、あらかじめタイルを室温になじませた後、詰めすぎないよう【ゆるめ】に施工してください。
- 施工時の室温が15℃以下で施工される場合は、施工後に突き上げを起こす可能性がございますので、この紙をミシン目に沿ってカットし、『スペーサー』としてご使用ください。
- 施工時の室温が5℃以下の場合は施工を避けてください。

■ = スペーサー



※木目調 (WOOD) に関しましては、長手方向のみスペーサーを挿入してください。

### ◆接着剤

- 接着剤の塗布にはクシ目を使用し、全面塗布後、接着剤が透明になるのを確認した後、貼り付けを行ってください（接着剤の標準塗布量 0.10 ～ 0.15 kg / m<sup>2</sup>）。
- 〈オープンタイムをとらずにタイルを貼られますと、目地部分から接着剤がはみ出てくる場合があります。また、塗布量が多いとタックが強くなって下地を損なう場合があります、透明になるまで時間がかかります。〉

### ◆カット

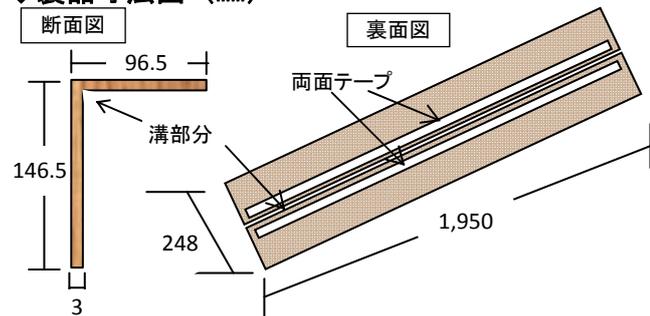
- 壁際・柱周り等は垂直にカットしてください。  
斜めにカットすると、突き上げの原因となります。



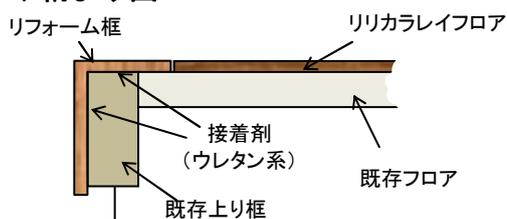
\* 施工時にスペーサーが不足する場合は、施工済み箇所の物を再使用していただきますようお願い致します。

## リフォーム枠 施工要領及び注意事項

### ◆製品寸法図 (mm)



### ◆納まり図



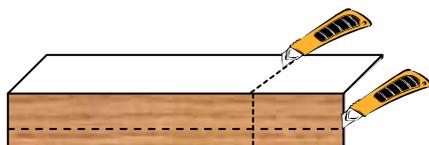
### ◆施工手順

#### 【1】下地処理

- 既存の上り框の天板及び前板部分に付着している汚れ・油分等を十分に除去してください。  
 ⚠️ ワックス分等が残っておりますと両面テープ及び接着剤が効かなく、剥がれ・反りを起こす原因になりますので、サンドペーパー等で除去することをお勧めします。
- 既存の上り框と既存フロアに段差がある場合又は反り・ねじれ等変形している場合はサンダー、カンナもしくはパテ材等で補修をし高さが均一になるよう調整してください。  
 ⚠️ 施工後、段差があるとリフォーム枠の端部からプリント層が剥がれる場合があります。

#### 【2】上り框の切断

- 温度変化により若干伸縮を起こすことがありますので上下及び両端を実測値より0.1~0.2mm (名刺厚) 程度、短めにカットするようにしてください。
- 切断は表面 (プリント面) よりカッターナイフにて最後まで数回刃を入れてください。  
 ⚠️ リフォーム枠のカット時は下敷き等を敷いた上で手袋を着用し怪我のないよう充分注意してください。  
 ⚠️ カッターナイフの刃を入れすぎると表面 (プリント面) の跳ね上げが発生する恐れがあります。その場合、サンダーがけなどで補修処理を行ってください。

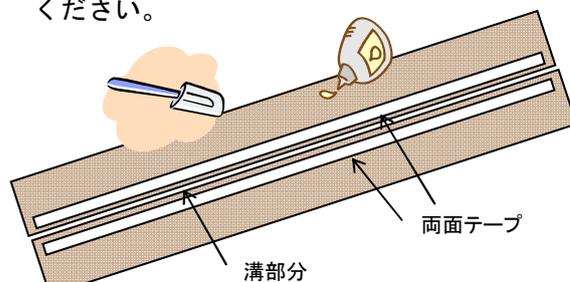


#### 【3】仮置き

- カットしたリフォーム枠を既存上り框に仮置きし寸法・密着具合等を確認してください。特に壁際についてはきつくなりすぎないようにサンドペーパー等を利用し微調整を行ってください。  
 ⚠️ 溝方向と逆側に折り曲げたり、強引に折り曲げたりするとシート部の白化や破損する恐れがありますので既存枠のコーナー部分より鋭角に曲げないようにしてください。  
 (次頁※1)

#### 【4】接着剤塗布

- ウレタン系接着剤をリフォーム枠の裏面へヘラ等を使い均一に塗布してください。溝部分にも接着剤を忘れずに塗布してください。

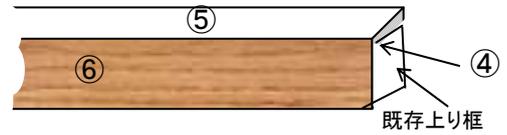
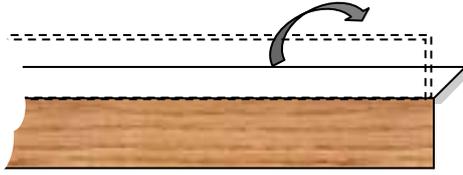


- ⚠️ 取付けは両面テープと接着剤との併用施工です。
- ⚠️ リフォーム枠の裏面に貼ってある両面テープは接着剤が硬化し安定するまでの仮留めですのでかならずご利用下さい。
- ⚠️ 接着剤の塗布量・オープンタイム・接着可能時間等に関しましては接着剤の説明書に従いご使用ください。又、木工用ボンド等をご利用になりますと、接着不良や踏み鳴りの原因になりますのでご注意ください。
- ⚠️ 両面テープの上に接着剤を塗布されますとテープの粘着力を損ないますのでご注意ください。
- ⚠️ 接着剤は下記と同等なものをご使用ください。

社名	品名
リリカラ (株)	リリカラウッドボンド
	リリカラセメントU
アイカ工業 (株)	アイカエコエコボンド JW-410

【5】リフォーム枠の貼り付け

- ① リフォーム枠の天板部をゆっくりと折り曲げる。

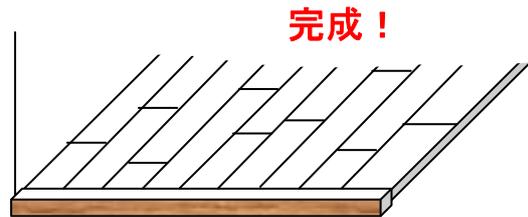
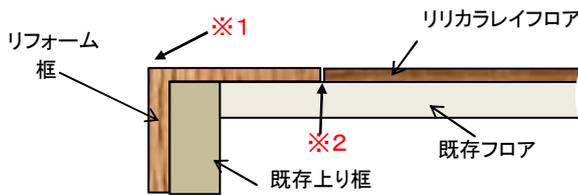


- ② 裏面の両面テープ（天板部）を剥がす。  
 ③ 少し開きぎみに既存上り框の上に被せる。  
 ④ 溝部分を既存上り框のコーナー部分に押し当て位置決めをする。  
 ⑤ リフォーム枠の天板部をハンドローラー等を使い圧着する。  
 ⚠ つぶれ・反り等を引き起こす原因になる恐れがありますので  
 端部についてはハンドローラー等の使用は控えてください。  
 ⑥ リフォーム枠の前板部も同様に両面テープを剥がし  
 既存上り框に貼り付け後、圧着する。

- ⚠ リフォーム枠貼り付け時、接着剤が既存フロア側にはみ出してしまうと  
 リリカラレイフロア施工時に段差の原因となりますので、濡れ雑巾等で直ちに拭き取ってください。

【6】リリカラレイフロアの敷き詰め

- ⚠ 本リフォーム枠とリリカラレイフロアとは突きつけて施工を行ってください。  
 その際、突きつけ部分は0.2mm（名刺厚）程度の余裕をもって施工してください。（下図※2）

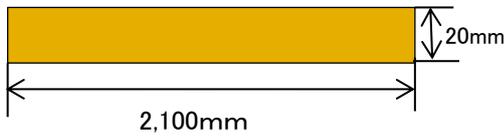


- ⚠ 施工中又は施工後、表面に汚れ等付着した場合は中性洗剤で拭き取りを行ってください。  
 シンナー、ベンジン等の溶剤系は絶対に使用しないでください。  
 ⚠ 本製品は湿気の少なく、平坦な場所で横に寝かせた状態で保管するようにしてください。  
 また、上に物を載せた状態で保管されますと変形・破損の原因になりますのでご注意ください。

## 見切り材 施工要領

### 製品寸法図

上面図

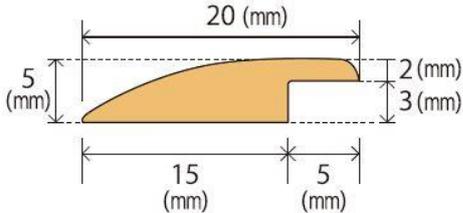


裏面図



両面テープ

構造図



### 施工手順

#### ① 保管

見切り材はフラットな床面に寝かせた状態で保管をお願いします。  
縦置きしたり段積みされると湾曲したり破損する場合があります。

#### ② 取り付け箇所の状況を確認

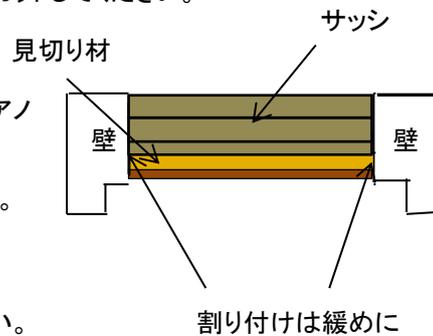
取り付け箇所が平坦であることを確認してください。段差があるところでの施工はできません。

#### ③ 寸法測定およびカット

取り付け箇所の壁やサッシに沿って、寸法を測定して下さい。  
貼り付け時は見切り材の両端部(壁面側)に突きついでなく、適度の隙間をあける必要があるため、実測値より短か目にカットして下さい。(大体0.2mm程度)  
カッターナイフもしくはノコギリを用いて必要寸法に表面からカットして下さい。  
切断面はサンドペーパー等でバリを取り除いてください。

#### ④ 貼り付け

裏面の両面テープの貼ってある箇所以外に瞬間接着剤(シアノアクリレート系)を等間隔(約5cm程度)に塗布してください。  
見切り材底部に粘着加工されている剥離紙をはがし、壁やサッシに沿って、直線状にまっすぐ貼り付けしてください。  
この場合片側共にゆるめの割付をお願いします。



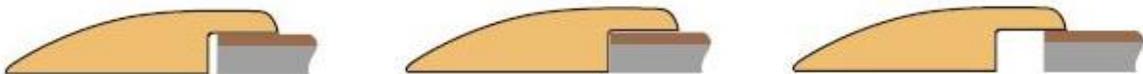
#### ⑤ 養生

しっかり圧着させ、十分に接着していることを確認してください。

### リリカラレイフロアの施工

#### ① 見切り材が床面に十分に接着されていることを確認してください。

#### ② 見切り材にリリカラレイフロアを取り付ける場合はなるべくタイル面と床面が平行になるようスライドして差し込んでください。 見切りに差し込むタイルは極端に小さくならないよう割付をして下さい。 タイルを詰め過ぎないようにゆるめに差し込んでください。



○

× 詰め過ぎ

× 浅過ぎ

### 施工上の注意

- 見切り材の施工は必ずリリカラレイフロアの施工前に行ってください。
- しっかり固定された下地に施工してください。  
また下地に湿気がないことを確認し、接地面の汚れ、ほこり、油分等は完全に拭取って且つ乾燥をさせてください。  
貼り付け箇所隙間に隙間や継ぎ目がある場合はパテ等で処理しフラットに床面を仕上げてください。
- 貼り付け時は正確な位置に一度で貼付して下さい。貼り直しはしないで下さい。
- 見切り材にリリカラレイフロアを突き付けて差し込むとリリカラレイフロア自体が浮き上がったり、見切り材が剥がれる可能性があります。

### 使用上の注意

- 頻繁に歩行するところや重量物(車イス、台車等)が通るところはまれに見切り材が変形する場合がありますので、ご承知置きください。
- 施工後、下地に湿気が発生する箇所は見切り材が浮いたり、剥がれやすくなる可能性があります。
- リリカラレイフロアを貼り変える場合、見切り材に差し込んだタイルは差込口と反対側を先に剥がし、タイル面と床面が平行になるようスライドさせてから引き剥がすようにしてください。  
差込口から引き剥がしたり無理に下から上に引き剥がすと見切り材が浮いたり剥がれたりする恐れがあります。

